

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公開番号】特開 2003-144554 (P2003-144554A)
【公開日】平成 15 年 5 月 20 日 (2003.5.20)
【出願番号】特願 2001-344387 (P2001-344387)
【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 M 25/01

A 6 1 B 18/04

【F I】

A 6 1 M 25/00 3 0 9 B

A 6 1 B 17/38 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 7 月 26 日 (2004.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

本発明に係る先端偏向操作可能カテーテルでは、操作用ワイヤまたはロッドの後端を、引っ張り、または押し込み操作することで、管状部材における先端偏向部は、先端偏向部の横断面から見て、両側に取り付けられた軸方向連結要素を結ぶ線に対して略直角方向に偏向移動する。しかも、その偏向移動の度合は、操作用ワイヤまたはロッドの引き込みまたは押し込み量に対応し、操作の追従性および安定性に優れている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

また、このカテーテル 2 では、一对の操作用ワイヤ 3 0 の後端を、巻き取りまたは巻き解し操作することで、管状部材 2 0 における先端偏向部 2 4 は、先端偏向部 2 4 の横断面から見て、両側に取り付けられた軸方向連結要素 2 8 を結ぶ線に対して略直角方向 A または B に偏向移動する。しかも、その偏向移動の度合は、操作用ワイヤ 3 0 の巻き取りまたは巻き解し量に対応し、操作の追従性および安定性に優れている。